

満開の桜が出発の春を祝うかのように咲き誇り、期待や夢が大きく膨らむ好季節となりました。周辺の「ふきのとう」や「つくし」等は日ごとに大きくなり、木々には新芽が芽吹くなど、植物もいきいき活動している様子が分かり、私たちは素晴らしいパワーをいただいているように思います。

周辺の田んぼや畑では、稲作や野菜作りの準備が始まり、農作業も忙しさを増すこの頃です。各職場においては、新しく加わった仲間と共に新たなスタートを切り、活気に満ち溢れていることと思います。今年もこの広報で各地域の催しや活動を紹介しながら、皆さん方と共に地域の活性化につなげられるような活動を推進していきたいと思っております。今年度もご協力よろしくお願い致します。



花見会



4月11日「千原すこやかクラブ」の花見会が地区内の堂で行われました。会場の桜は満開で、みんなの長寿を祝っているかのように美しく輝いていました。この日は、あいにくの曇り空で、会場準備を進めながらも開催を心配しましたが、雨も降らず、会員も続々と集まって、予定通り開催することができました。この催しは、毎年この時期に行われる恒例の行事です。

今回は、28名が参加しました。参加者の最高齢は98歳で、満開の桜を前に、準備された花見弁当、甘酒、菓子、大吟醸などをいただきながら、よもやま話に花が咲き、お互いに親交を深め合うことができました。(田村豊和氏 談)



花壇の整備

各地区花壇がきれいに整備されました。昨年にチューリップの球根などを植え付け、今春の開花を待っていたのですが、雪がすっかり解け、草が勢いよくはびこり、植えた花が目立ちにくくなっていました。花壇を管理する婦人会の方々やすこやかクラブの方々が雑草を取り除き、きれいに整備されました。

千谷区では4月13日にすこやかクラブのメンバーが集まり、花の苗が十分に栄養を取り成長できるように願いながら、花壇の整備作業に取り組んでいました。色とりどりの花が美しく咲きそろって国道を通る方々の目を楽しませると同時に、「ほっこり」するやすらぎを与えてもらえるのではないのでしょうか。



春祭り

4月16日 千谷区で、恒例の「秋葉神社祭」が行われました。この祭りの祭礼日は、毎年4月17日と定められ、秋の氏神「三宝荒神」の祭礼に準じて「猩々」「獅子舞」「榊担ぎ」などが村中を一軒一軒回る習わしがあります。（千谷村誌より）。近年は、祭りの運営の都合により、4月の第2日曜日に行われるようになってきました。今年は好天に恵まれ、祭りを運営する「千栄会」の会員も多数参加して、それぞれの役を分担しながら行われました。

猩々が各家を訪問し、獅子が各家の玄関先で太鼓に合わせて「獅子舞」をし、この時、家人は玄関で迎えます。また、この獅子頭で頭を噛んでもらうと「賢くなる」という言い伝えもあり、噛んでもらったお子さん方も多くみられました。参加者は、それぞれの家庭で「おもてなし」を受けながら村中を回り行事は終わりです。この日は、多くの子供たちが参加してリュックを背負って同行して祭りを盛り上げていました。背中にしよったリュックは「おもてなし」のお菓子でいっぱいになっていました。



新温泉町指定無形民俗文化財
千谷麒麟獅子舞



平成29年度各地区区長さん協力委員さん

地区名	区 長	協力委員
あさひヶ丘	中井隆輔	亀谷文雄
千 原	太田 勲	太田清美
鐘 尾	井上至信	井上正宏
千 谷	西脇 明	岩上 貢
宮 脇	田畑 修	岡田久子
内 山	岡田清美	岡田壮弘
越 坂	山本芳昭	*****

各地区区長さん、公民館協力委員さん、各種団体の代表者の皆さん、今年度も公民館の諸活動及び運営にご協力いただきますようよろしくお願い致します。

また、各地区の行事や催、各種団体の取組みなど、情報をお知らせいただきますようよろしくお願い致します。

八田コミセンからのお知らせ

回 覧 八田文化交流会ニュース
濱田俊男 浮世絵展
 浜坂在住の濱田俊男さんが描いた、「東海道五十三次」と「富嶽三十六景」の浮世絵の模写を展示します。子どもさんが大きくなり使わなくなったクレパスや絵の具等の画材を使って書き溜めてきた、江戸時代の人気絵師の名作を八田コミセンでご覧ください。



4.26(水) ~ 5.21(日)

★東海道五十三次(4月26日~5月7日)・富嶽三十六景(5月10日~5月21日)

※午前9時~午後4時30分(最終日は4時まで) ※休館日 月曜日

八田コミュニティセンター・おもしろ昆虫化石館



新温泉町千谷850
TEL/FAX 93-0888

●利用のこあんない。(おもしろ昆虫化石館)

公民館だよりのお問い合わせは
浅田まで ☎93-0306